

品名 再生細粒度アスコン(13)

アスファルト混合物配合報告書

報告年月日 2024年2月

製造工場名 大成ロテック(株)鳥取合材工場

混合物の種類 再生細粒度アスコン(13)

報告者 吉澤 拓人

工事名称

所在地

納入予定時期

1. 使用材料の種類及び産地

材料の種類	製造会社名	産地	材質
6号碎石	(株)北部碎石	岡山県美作市	粘板岩
7号碎石	(株)北部碎石	岡山県美作市	粘板岩
粗砂	(株)住若	佐賀県唐津市	海砂
スクリーニングス	(株)北部碎石	岡山県美作市	粘板岩
石粉	足立石灰工業(株)	岡山県新見市足立	石灰石粉
再生骨材(13-0)	大成ロテック(株)鳥取合材工場	鳥取市千代水	
再生アスファルト	大成ロテック(株)鳥取合材工場	鳥取市千代水	再生スラッシュ
ストレートアスファルト	昭和瀝青工業(株)	兵庫県姫路市	60-80

2. 配合割合

材料	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーニングス	石粉	再生骨材							
配合割合(%)	9.5	5.5	19.0	15.0	1.0	50.0							

3. 合成粒度

ふるい目	53.0mm	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600μm	300	150	75
通過率						100.0	—	72.5	57.3	—	30.0	17.9	10.4	6.9

4. 室内配合アスファルト量及び製造の温度・時間等

アスファルト量(%)	密度(g/cm ³)	空隙率(%) (3~6)	飽和度(%) (70~85)	安定度(kN) (4.9以上)	フロー値(1/100cm) (20~40)	理論密度(g/cm ³)	突固め回数(回)
6.6	2.307	3.9	79.0	6.62	25	2.400	50
アスファルト温度(℃)	骨材の加熱温度(℃)						
154	190						

骨材試験成績表

目的 配合設計

報告年月日 2024年2月

報告者 吉澤 拓人

試験項目		試験規格	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーングス	石粉			
密度	表乾	JISA 1109 JISA 1110	2.677	2.611	2.568	2.579				
	かさ		2.646	2.570	2.531	2.528				
	見掛		2.731	2.682	2.628	2.665	2.730			
吸水量 (%)	JISA 1109 JISA 1110	1.168	1.626	1.453	2.040	0.01				
吹付けすりへり減量 (%)	JISA 5001 JISA 1121	12.5								
安定性 (%)	JISA 1122									
骨材の微粒分量試験通過量 (%)	JISA 1103									
軟石含有量 (%)	JISA 1126									
偏平/細長石片の含有量 (%)	舗装調査・試験法便覧	1.87								
単位容積質量 g/ml	JISA 1104	1.53	1.51	1.67	1.80					
粘土塊含有率 (%)	JISA 1137	0.07								

通過質量百分率 (%)	ふるい目の開き	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーングス	石粉			
	53.0 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5								
	19.0								
	13.2	100.0	100.0	100.0					
	9.5								
	4.75	1.4	99.6	98.9	100.0				
	2.36		1.3	90.9	97.1				
	1.18								
	600 μm		0.2	48.1	52.5				
	300			18.6	32.7	100.0			
	150			1.5	21.0	98.1			
	75			0.4	13.8	88.6			

骨材の粒径加積曲線図

目 的 配 合 設 計

報告年月日 2024年2月

混合物の種類 再生細粒度アスコン(13)

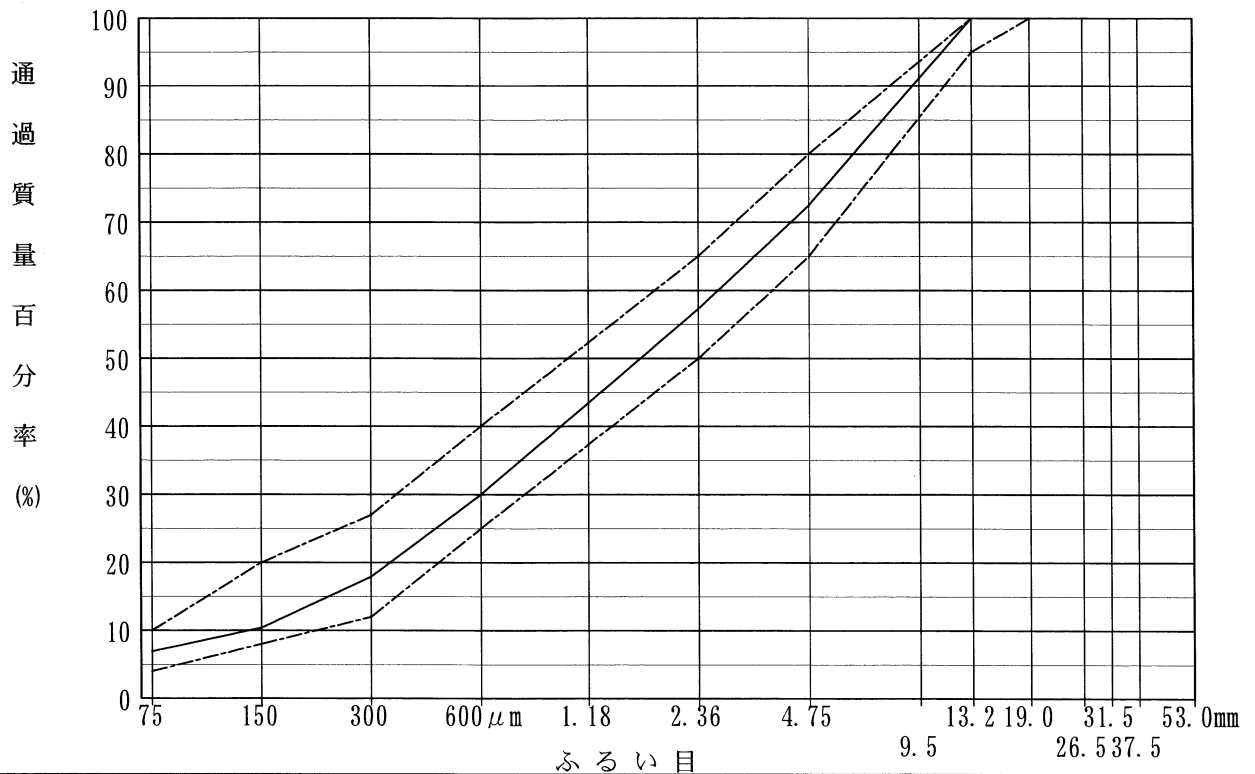
試 験 者 吉澤 拓人

・合成粒度

ふるい目	合成粒度	粒 度 範 囲	
53.0 mm			
37.5			
31.5			
26.5			
19.0		100	
13.2	100.0	95 ~ 100	
9.5			
4.75	72.5	65 ~ 80	
2.36	57.3	50 ~ 65	
1.18			
600 μm	30.0	25 ~ 40	
300	17.9	12 ~ 27	
150	10.4	8 ~ 20	
75	6.9	4 ~ 10	

・粒径加積曲線図

----- 粒度範囲
 ————— 合成粒度



混合物の理論最大密度計算表

目的 配合設計

報告年月日 2024年2月

混合物の種類 再生細粒度アスコン(13)

試験者 吉澤 拓人

骨材の種類	A (骨材のみ)	B (旧アスファルト含む)
6号砕石	9.5	9.50
7号砕石	5.5	5.50
粗砂	19.0	19.00
スクリーングス	15.0	15.00
石粉	1.0	1.00
再生骨材	50.0	52.60
	100.0	102.60
設計針入度	1/10mm	70
旧アスファルト量 (外割%)		2.60
再生用添加剤量 (対旧アスファルト量) (%)		9.0
再生用添加剤量 (対再生混合物) (外割%)		0.23

再生アスファルト量 (%)	5.5	6.0	6.5	7.0	7.5	6.6
再生アスファルト量 (外割%)	5.82	6.38	6.95	7.53	8.11	7.07
旧アスファルト量 (外割%)	2.60					
再生用添加剤量 (外割%)	0.23					
新アスファルト量 (改質剤含) (外割%)	2.99	3.55	4.12	4.70	5.28	4.24

①	②	③	④
骨材の種類	配合率 (%)	計算に用いる密度	②/③
6号砕石	9.50	2.731	3.479
7号砕石	5.50	2.682	2.051
粗砂	19.00	2.628	7.230
スクリーングス	15.00	2.665	5.629
石粉	1.00	2.730	0.366
再生骨材	52.60	2.442	21.540
再生用添加剤	0.23	0.925	0.249
Σ②=	102.83	Σ④=	40.544

⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	理論密度
新アスファルト量	新アスファルトの密度	⑤/⑥	Σ④	⑦+⑧	(Σ②+⑤)/⑨
2.99	1.041	2.872	40.544	43.416	2.437
3.55		3.410		43.954	2.420
4.12		3.958		44.502	2.403
4.70		4.515		45.059	2.386
5.28		5.072		45.616	2.370
4.24		4.073		44.617	2.400

マーシャル安定度試験 (その1)

目的 配合設計 試験年月日 2024年2月
 混合物の種類 再生細粒度アスコン(13) 試験者 吉澤 拓人
 アスファルトの種類 再生ストアス アスファルトの密度(A) 1.035 g/cm³ アスファルトの温度 154 (°C)
 骨材の温度 190 (°C) 突固め時の温度 142 (°C) 突固め回数 50 回 力計の係数(B) ロードセル(1.000)

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ ⑧ 密度		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ ⑭ 安定度		⑮	⑯
		アスファルト量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cm ³)	かさ (g/cm ³)	理論 (g/cm ³)	アスファルト容積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	力計の読み	安定度 (kN)	フロー値 (1/100cm)	備考
							(注1)	(注2)		$\frac{① \times ⑦}{(A)}$ (注3)	$⑨ + ⑩$	$\frac{⑨}{⑪}$		$(B) \times ⑬$			
標準	1	5.5	6.26	1179.2	662.9	1180.8	517.9	2.277						5.71	5.71	19	
	2		6.27	1180.1	662.5	1181.8	519.3	2.272						5.86	5.86	19	
	3		6.29	1180.3	662.1	1182.1	520.0	2.270						6.23	6.23	20	
標準	4	6.0	6.31	1184.2	669.2	1185.5	516.3	2.294						6.23	6.23	21	
	5		6.32	1185.3	669.0	1186.6	517.6	2.290						6.19	6.19	23	
	6		6.29	1184.9	669.9	1186.2	516.3	2.295						6.71	6.71	21	
標準	7	6.5	6.34	1190.9	675.2	1192.0	516.8	2.304						6.43	6.43	25	
	8		6.33	1189.3	674.9	1190.3	515.4	2.308						6.29	6.29	23	
	9		6.37	1191.2	673.5	1192.2	518.7	2.297						6.81	6.81	23	
標準	10	7.0	6.37	1195.2	679.2	1196.0	516.8	2.313						6.71	6.71	27	
	11		6.40	1194.6	678.3	1195.3	517.0	2.311						7.09	7.09	26	
	12		6.39	1195.3	679.0	1195.9	516.9	2.312						6.88	6.88	27	
標準	13	7.5	6.44	1200.2	681.2	1200.5	519.3	2.311						7.09	7.09	30	
	14		6.41	1201.3	680.9	1201.6	520.7	2.307						7.22	7.22	29	
	15		6.42	1200.9	680.5	1201.2	520.7	2.306						7.14	7.14	31	
							2.308	2.370	16.7	2.6	19.3	86.5		7.15	30		

(注1) ⑤-④

(注2) $\frac{③}{⑥}$

(注3) $(1 - \frac{⑦}{⑧}) \times 100$

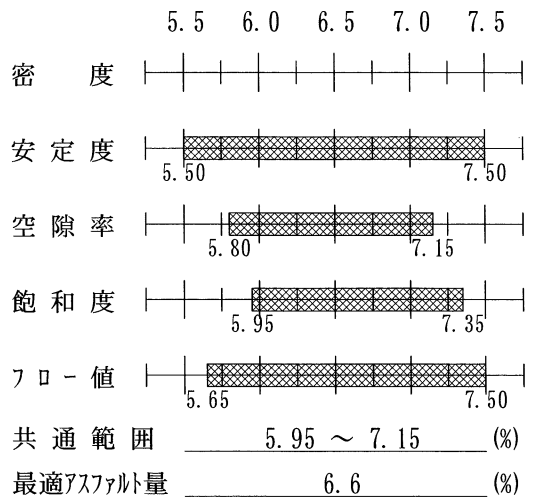
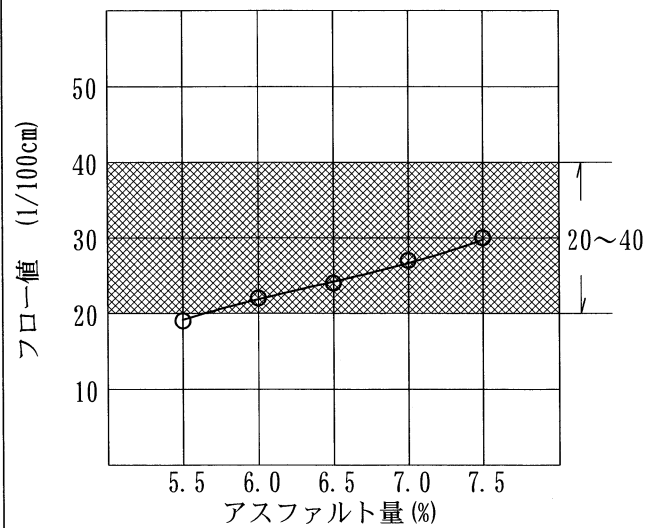
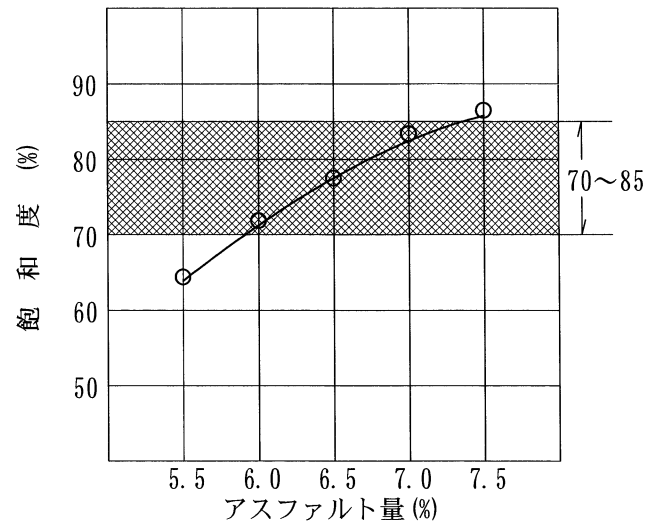
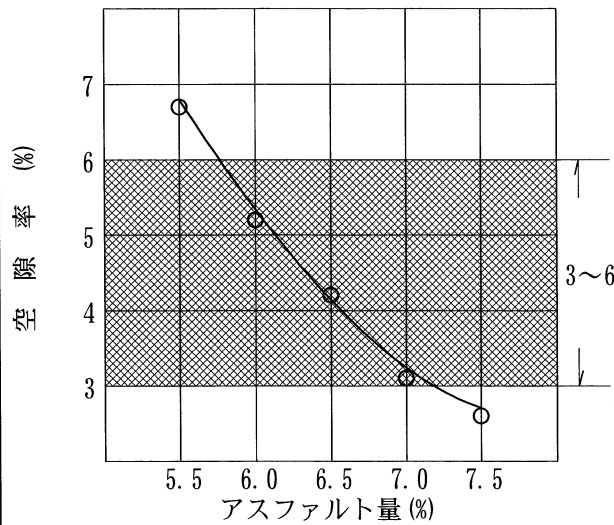
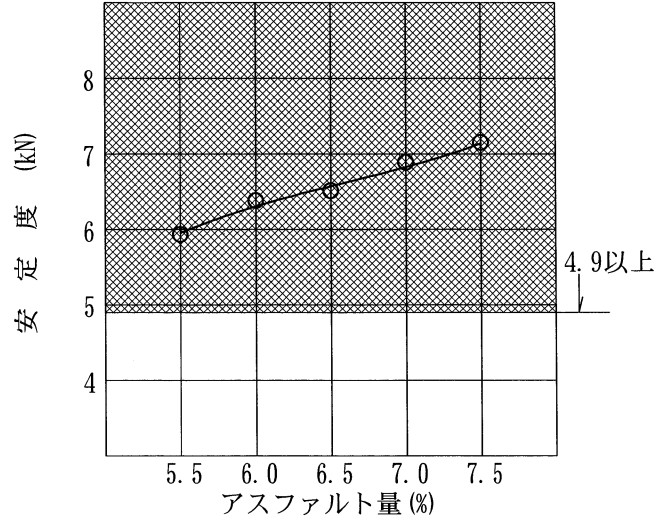
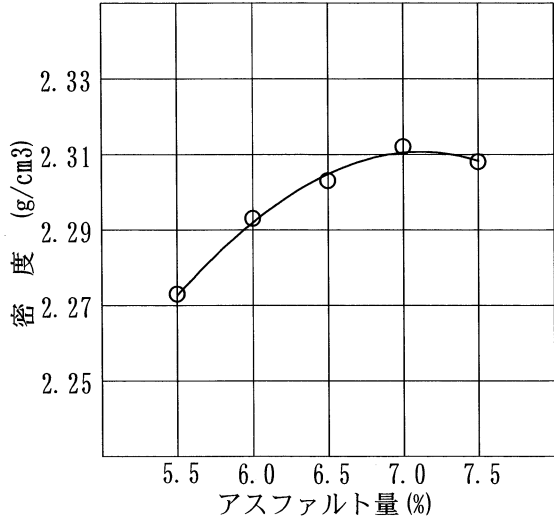
マーシャル安定度試験 (その2)

目的 配合設計

試験年月日 2024年2月

混合物の種類 再生細粒度アスコン(13)

試験者 吉澤 拓人



配合設計まとめ

混合物の種類 再生細粒度アスコン(13)

報告年月日 2024年2月

試験者 吉澤 拓人

1. 骨材配合率

新骨材	6号砕石	7号砕石	粗砂	スクリーンス	石粉			
配合率 (%)	9.5	5.5	19.0	15.0	1.0			

再骨材	再生骨材		
配合率 (%)	50.0		

2. 合成粒度

ふるい目	53.0mm	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600 μ m	300	150	75
通過率						100.0	—	72.5	57.3	—	30.0	17.9	10.4	6.9

3. 最適アスファルト量

OAC・・・ 6.6 %

旧アスファルト量 (%)	再生用添加剤量 (%)	新アスファルト量 (%)
2.43	0.21	3.96

マーシャル安定度試験 (その1)

目的 試験練り 試験年月日 2024年2月

混合物の種類 再生細粒度アスコン(13) 試験者 吉澤 拓人

アスファルトの種類 再生スツアス アスファルトの密度(A) 1.035 g/cm³ アスファルトの温度 154 (°C)

骨材の温度 190 (°C) 突固め時の温度 142 (°C) 突固め回数 50 回 力計の係数(B) ロードセル(1.000)

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑦ 密度		⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ 安定度		⑭	⑮	⑯
		アスファルト量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cm ³)	かさ (g/cm ³)	理論 (g/cm ³)	アスファルト容積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	力計の読み	安定度 (kN)	フロー値 (1/100cm)	備考	
							(注1)	(注2)		$\frac{① \times ⑦}{(A)}$	(注3)	⑨+⑩	$\frac{⑨}{⑪}$		(B) × ⑬			
標準	1	6.6	6.34	1190.5	675.6	1191.5	515.9	2.308						6.39	6.39	25		
	2		6.34	1189.8	674.9	1190.9	516.0	2.306						6.28	6.28	25		
	3		6.36	1191.2	673.5	1192.3	518.8	2.296						6.55	6.55	22		
							2.303	2.400	14.7	4.0	18.7	78.6		6.41	24			

(注1) ⑤-④

(注2) $\frac{③}{⑥}$

(注3) $(1 - \frac{⑦}{⑧}) \times 100$

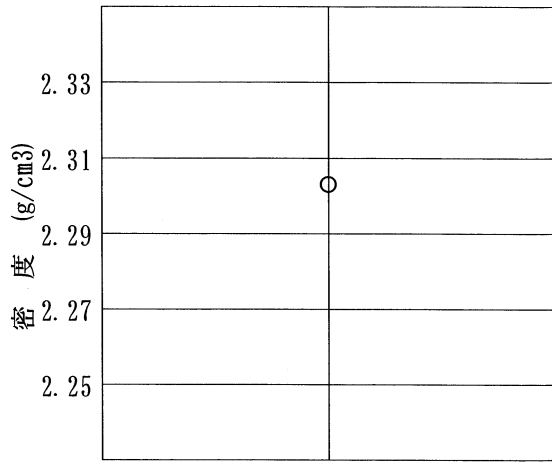
マーシャル安定度試験 (その2)

目的 試験練り

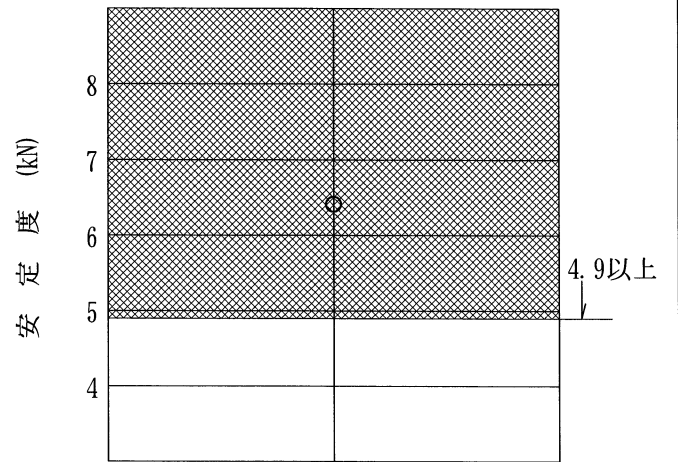
試験年月日 2024年2月

混合物の種類 再生細粒度アスコン(13)

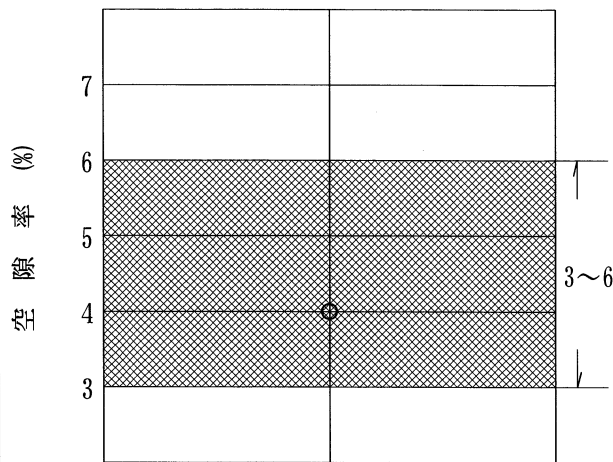
試験者 吉澤 拓人



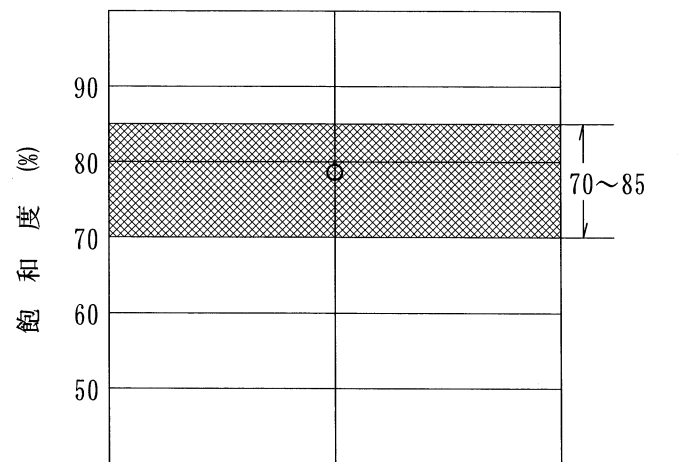
6.6
アスファルト量 (%)



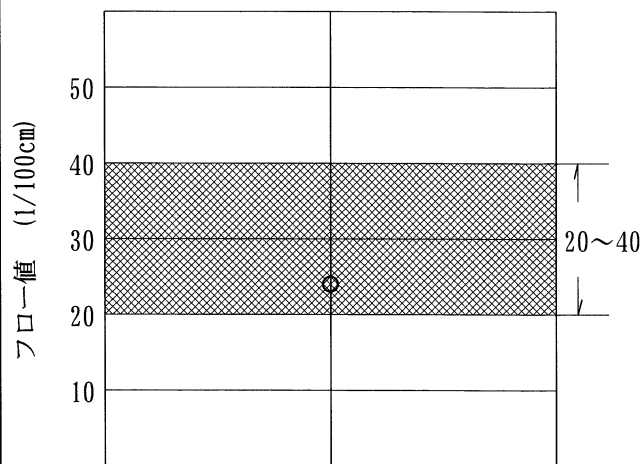
6.6
アスファルト量 (%)



6.6
アスファルト量 (%)



6.6
アスファルト量 (%)



6.6
アスファルト量 (%)

ホットビン粒度設計

目的 試験練り

報告年月日 2024年2月

混合物の種類 再生細粒度アスコン(13)

試験者 吉澤 拓人

ビン	5 BIN	4 BIN	3 BIN	2 BIN	1 BIN	再生骨材	ス	石粉					
配合率 (A) (%)			10.0	4.0	33.0	50.0	2.0	1.0					
通過質量百分率	53.0 mm												
	37.5												
	31.5												
	26.5												
	19.0			100.0									
	13.2			99.5	100.0		100.0						
	9.5												
	4.75			3.5	99.5	100.0	64.2						
	2.36			0.3	0.6	90.8	48.5						
	1.18												
	(B)	600 μm				0.2	45.6	23.9	100.0				
(%)	300					19.5	17.0	99.8	100.0				
	150					4.9	11.8	94.8	98.1				
	75					1.1	7.5	88.6	88.6				

ホットビンのふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B) / 100													合成粒度	粒度範囲	
ふるい目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
53.0 mm															
37.5															
31.5															
26.5															
19.0			10.0												100
13.2			10.0	4.0		50.0								100.0	95 ~ 100
9.5															
4.75			0.4	4.0	33.0	32.1								72.5	65 ~ 80
2.36			0.0	0.0	30.0	24.3								57.3	50 ~ 65
1.18															
600 μm				0.0	15.0	12.0	2.0							30.0	25 ~ 40
300					6.4	8.5	2.0	1.0						17.9	12 ~ 27
150					1.6	5.9	1.9	1.0						10.4	8 ~ 20
75					0.4	3.8	1.8	0.9						6.9	4 ~ 10

粒径加積曲線図

----- 粒度範囲 —— 合成粒度

